

腹腔鏡内視鏡
合同手術研究会
Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery
第13回 2016年3月19日

■演題 1 地元眼鏡枠メーカーとの開発機器 FJ(Free Jaw) Clip と F(Free) loop Plus による Reduced Port Surgery(RPS) LECS の 1 例

代表演者：藤井秀則 先生（福井赤十字病院 外科）

共同演者：[福井赤十字病院 外科] 川上義行、吉羽秀麿、青竹利治、皆川知洋、広瀬由紀

【はじめに】我々は、Reduced port surgery に有用な腹腔内での臓器把持用の機器 FJ(Free Jaw) Clip と腹腔内の糸を体外に引き出すための機器 F loop Plus を地元眼鏡枠メーカー CHARMANT と開発した。

【製品概略】FJ Clip は通常用いる腹腔鏡用鉗子で操作可能な着脱式のステンレス製で、把持力は強いが組織挫滅が少ない。FJ Clip につけた糸を体外に引き出すには、我々は 22G 注射針に先端がループになるように 4-0 ナイロンを通したものを F needle の呼び名で用いてきた。安価だが細い針に細い糸を通して準備するのは手間であり、針刺しの危険もある。そこで F needle を製品化し、針長が 90mm で 21G の特性のステンレス針に ϕ 0.1mmNiTi 合金糸を通したものを考案し F loop Plus と名付けた。

【症例】70 歳代女性。体中部前壁大彎寄りの 20mm の SMT に対して LECS 施行した。ポートは臍部に 12mm 用 5mm 用計 2 本、左側腹部に 5mm 用の 3 本による RPS で行った。FJ Clip 12mm 用とペンローズドレーンで肝左葉を展開、胃体部前壁を FJ Clip 12mm 用で把持し足側に牽引。腫瘍周囲は FJ Clip 5mm を 2 個と結紮糸 2 本の計 4 本でつり上げるようにし経口内視鏡下で腫瘍部を全周全層切離した。切除部は仮閉鎖の後、縫合器で閉鎖した。

【結語】FJ Clip と F loop Plus は LECS における Reduced Port Surgery に有効と考えられる。